

富富富 特報

「富富富」は、おおむね順調に生育しています。 コシヒカリよりも生育が旺盛になることから、「中干し」は、田植1か月後を目安に、遅れずに行いましょう！

1 溝掘り・中干し ~根をしっかり伸ばすとともに、過剰な分けつを抑制~

・田植後1か月頃（株当たり茎数16本程度）を目安に溝掘り・中干しを行い、本格的な梅雨の前にしっかりと干しあげましょう。

●溝掘りのポイント

- ・軽く田干しを行い、泥を落ち着かせてから溝を掘る。
- ・溝の間隔は5mに1本を目安とし、乾きにくい場所は重点的に実施する。
- ・ほ場の周囲と中央の1本は、特にしっかりと掘る。
- ・溝は、水尻まで確実に連結する。

●中干しのポイント

- ・田面に小さなひび割れが入り長靴の跡がつく程度まで干す。
- ・表面に水がなくても足が沈むようでは不十分です。



【中干し終了頃のほ場の状態】

中干しの効果

- ①根の伸長促進 ②過剰な分けつの抑制 ③収穫作業に向けた地耐力の確保

2 間断かん水 ~適度な酸素と水分を供給し、根や稲体を健全化~

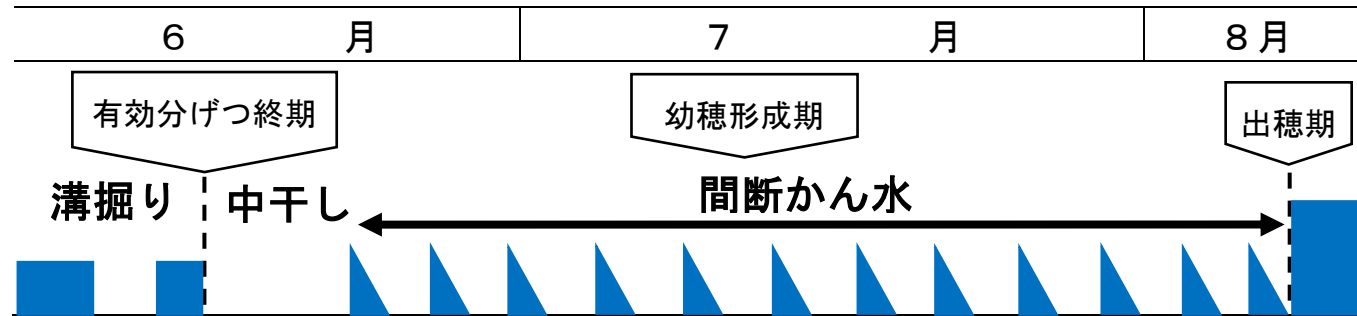
・中干し終了後～出穂期までは、1日湛水・2～3日落水の「間断かん水」を行います。

間断かん水の効果

- ①適度な酸素と水分を供給し、根のさらなる伸長促進、稲体の健全化
- ②適正籾数への誘導

※「富富富」は葉色がやや濃いめに推移することから、「コシヒカリ」のような幼穂形成期～出穂期の「飽水管理」は必要ありません。

《水管理のイメージ》



栽培基準を守って、高品質で美味しい「富富富」の生産を！

3 「エスアイ加里らくだ」の施用 ~「カリ」と「ケイ酸」成分の補給~

- ・県内の水田土壌では、「カリ」と「ケイ酸」成分が大幅に不足しています。
- ・稲の受光体勢の改善、下葉の枯れ上がり防止等の効果が期待できます。「富富富」でも積極的に施用しましょう。



施用時期：6月20～25日頃
 施用量：15kg/10a

4 後期除草剤の散布 ~化学合成農薬の成分使用回数12以内を厳守~

- ・一発除草剤の使用後もヒエや広葉雑草が残ったほ場は、後期除草剤を散布しましょう。
- ・後期除草剤を使用する場合は、今後の本田防除も含めて、化学合成農薬の成分使用回数が12以内となるように、注意してください。

※本田防除（ラジヘリ防除の場合）は、4成分を使用する予定です。その他、農薬成分使用回数について不明な点がある場合は、事前に営農指導員へご相談ください。

対象雑草	農薬名	成分数	散布時期	散布量 (kg/10a)
ヒエ	クリンチャー1キロ粒剤 (湛水してから散布する)	1	田植後7日～ノビエ4葉期 (収穫30日前まで)	1kg
			田植後25日～ノビエ5葉期 (収穫30日前まで)	1.5kg
ヒエ 広葉	フォローアップ1キロ粒剤 (湛水してから散布する)	2	田植後15日～ノビエ5葉期 (収穫60日前まで)	1kg
広葉 雑草	バサグラン粒剤 (落水してから散布する)	1	田植後15～55日 (収穫60日前まで)	3～4kg

5 区分管理上の留意点 ~「富富富」と他品種をしっかりと区分して、混入防止~

- ・異品種混入を防止するため、浮き苗は確実に除去する。また、前作が水稻のほ場では、前年の漏生籾由来の稲株を確実に抜き取る。
- ・作付ほ場に、「富富富」栽培ほ場看板を設置する。(6月15日まで)



【漏生籾は確実に抜き取る】

《「富富富」ほ場看板の記載例》

